

1. 本県周辺海域の概況(図1, 3/14現在)

- ・黒潮の流型は、蛇行したC型で推移しています。黒潮主流は犬吠埼を離岸した状態で、本県沖合を北東に流去しています。
- ・親潮第一分枝の先端位置は、北緯39° 00′ 東経143° 00′ 付近(岩手県沖)にあります。親潮の面積は平年並で推移しています。また、仙台湾～常磐北部海域では平年よりも1～2℃低い海域が広がっています(気象庁3/10発表)。

2. 海洋観測結果(3/4～5:調査船「いばらき丸」)

- ・時化の影響により、犬吠埼定線全点と鹿島定線の沖合4点(東経141° 15′ ～142° 00′)が欠測となりました。
- ・水平水温図(水温, 前月差, 平年偏差)を図2～9に示しました。また、各定線の鉛直水温図を図10～12に、会瀬・大洗・鹿島定線の鉛直水温図(前月差, 平年偏差)を図13～17に示しました。海面水温は、会瀬沖で9.1～15.8℃, 大洗沖で8.1～16.1℃, 鹿島沖で9.5～13.6℃でした(図2)。
- ・前月と比べると、広い海域で昇温(+1～+5℃)しましたが、会瀬および大洗沿岸でやや降温(-2～-1℃)しました(図6～7, 図13～14)。
- ・平年と比べると、沿岸～沖合の表層・下層(100m深)では、暖水波及の影響により「やや高め～極めて高め」となりました。極沿岸域(水深20m以浅)では、2月中旬に南下した冷水の影響が残り、「やや低め～平年並」となりました。(図8～9, 図15～17)。
- ・潮流の特徴として、大洗沖の東経141° 15′ 付近でやや強い逆潮(0.3～1.0ノット), 同東経141° 30′ 付近でやや強い真潮(0.5～1.0ノット)が観測されました。

3. 今後の1カ月の見通し

- ・黒潮流型は蛇行したB～C型で推移するでしょう。犬吠埼沖での黒潮流路は大きく変動するでしょう。
- ・親潮の面積は平年より大きめで推移するとみられ、親潮第一分枝の先端は北緯38° 00′ 東経143° 00′ (仙台湾付近)まで南下するとみられます。
- ・水温を平年と比べると、極沿岸で「やや低め～平年並」、沿岸～沖合で「高め基調」で推移するでしょう。但し、親潮系冷水が急激に本県海域まで南下した場合には、広い海域で「低め」の水温環境となるでしょう。

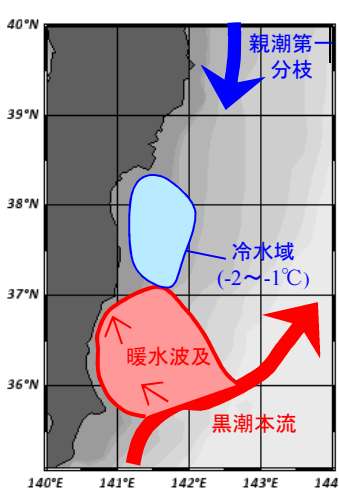


図1 海況の概要
(3月14日現在)

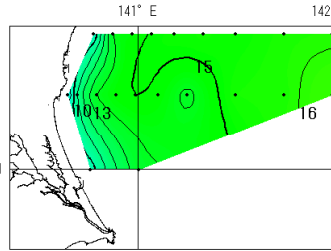


図2 海面水温(°C)

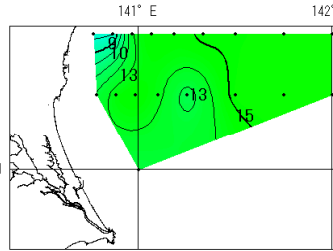


図3 50m深水温(°C)

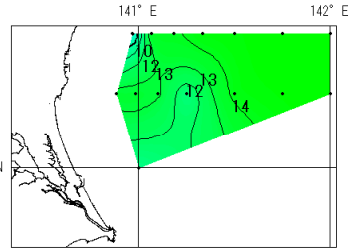


図4 100m深水温(°C)

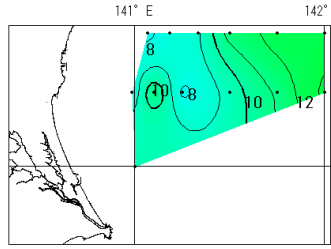


図5 200m深水温(°C)

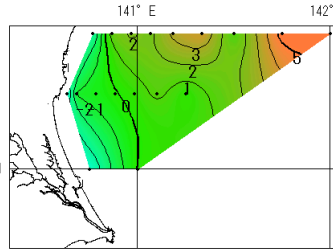


図6 海面水温前月差(°C)

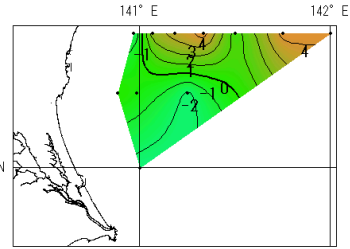


図7 100m深水温前月差(°C)

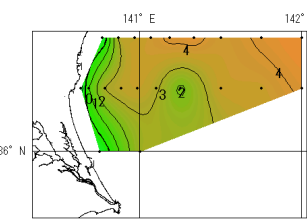


図8 海面水温偏差(°C)

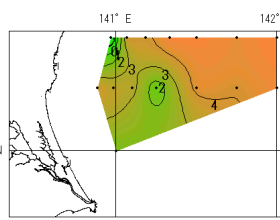


図9 100m深水温偏差(°C)

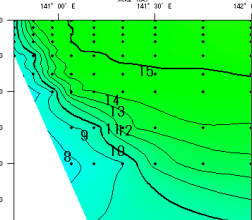


図10 会瀬沖鉛直水温(°C)

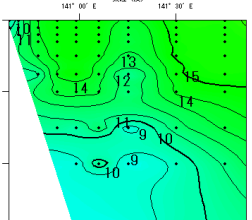


図11 大洗沖鉛直水温(°C)

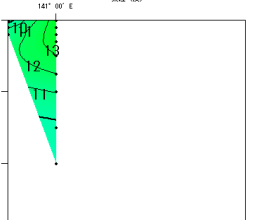


図12 鹿島沖鉛直水温(°C)

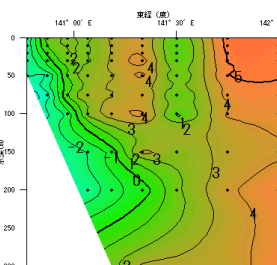


図13 会瀬沖鉛直水温前月差(°C)

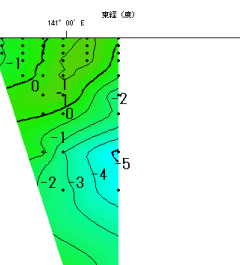


図14 大洗沖鉛直水温前月差(°C)

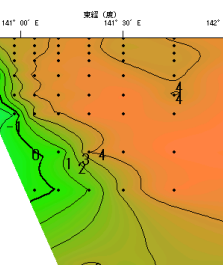


図15 会瀬沖鉛直水温偏差(°C)

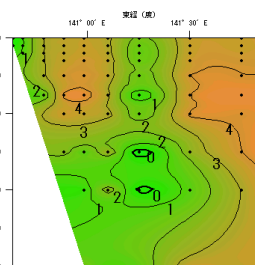


図16 大洗沖鉛直水温偏差(°C)

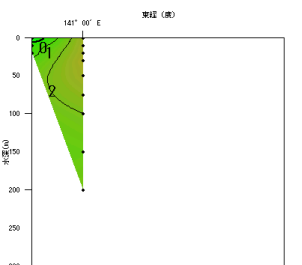


図17 鹿島沖鉛直水温偏差(°C)